みどころ

知床羅臼ビジターセンター

知床羅臼の自然や文化、登山などの情報提供を行っています。シャチの骨格標本やはく製もあり子どもも楽しく学べます。
●入館料/無料 ●開館時間/9:00～17:00(5月～10月)、10:00～16:00(11月～4月) ●休館日/月曜日・年末年始(※5月～10月の月曜日が祝日の場合、開館。7月～9月は休館日なし。)
0153-87-2828

ルサフィールドハウス

知床岬や知床岳など、深い自然の地に足を踏み入れる登山者やシーカヤッカーなどに、現地の情報を提供しています。
●入館料/無料 ●火曜休館(11月～4月休館) ※水・飲料水はありません
0153-89-2722

間欠泉

昭和43年に北海道指定天然記念物に指定されました。数十分間隔で見ることができます。羅臼ビジターセンターからは徒歩3分です。
0153-87-2828

羅臼国後展望塔

高台から羅臼市街地や北方領土国後島が一望でき、特に流氷が訪れる季節には幻想的な光景が見られます。また展望塔館内では、北方領土に関する資料の展示や、映像上映も行っています。※冬期はバスの運行不可
0153-87-4560

しおかぜ公園

戸川幸夫の小説「オホーツク老人」の銅像が建ち、これは映画「地の涯に生きるもの」の主演である森繁久弥がモデルです。また、町民に感謝を込めて贈った歌「さらばラウスよ(のちの「知床旅情」)」の碑もあり、歌詞は森繁自身の筆で彫られています。 0153-87-2126

クジラの見える丘公園

羅臼港と根室海峡を望む。丘からマッコウクジラを観察できる場所。双眼鏡を持っていくことをおすすめします。※冬期間は除雪されないため入ることができません ※バスの運行不可
0153-87-2126

知床峠

羅臼町と斜里町を結ぶ知床横断道路の頂上。標高約740mの峠になっており、羅臼岳や国後島を望むことができ、季節ごとに美しい風景を楽しむことができます。冬季間(11月～4月下旬)は閉鎖されます。 0153-87-2126

羅臼町郷土資料館

羅臼は縄文時代から北方民族が行き来した地。遺跡から出土した土器や石器、漁業や生活に関わる資料などが展示されています。
●入館料/無料 ●開館時間/9:00～17:00 ●休館日/土日祝日(7月～9月は全日開館)、年末年始休館
0153-88-3850

誠締寺

明治28年に創立された、歴史と伝統のある浄土真宗東本願寺未寺の寺院。5月初旬頃から開花するエゾオオヤマザクラは大変見ごたえがあります。 0153-87-2020

知床総鎮守 羅臼神社

漁業の町・羅臼を守る唯一の神社。安政年間(1854年～1859年)に創建され、現在の社殿は昭和50年に造営されたものです。世界遺産知床の町で御朱印をもらおう。
0153-87-2225

イベント

知床雪壁ウォーク (4月上旬)

春の知床横断道路開通の直前に開催されます。道路が除雪されてできた雪壁の間を、知床峠の頂上付近まで歩きます。雪壁の間からは、羅臼岳を望むことができ、眼下には根室海峡と国後島の絶景が広がります。

羅臼神社祭 (7月1日～3日)

漁業の町・羅臼町を守る唯一の神社、羅臼神社の例大祭。神輿を担ぎ練り歩く若者の姿や、町内会女性部の踊りが見る人の目を楽しませます。

しれとこ羅臼昆布フェスタ (7月下旬～8月上旬)

本物の漁船と道具を使った昆布漁体験、加工の実演もみどころです。「みて、さわって、食べて!」羅臼昆布を楽しんでください。

らうすオジロまつり (2月上旬)

羅臼町商工会青年部が、地元の子どもたちや観光客に羅臼の冬を楽しんでもらうために開く参加型のイベント。羅臼の寒い冬を思いっきり楽しめます。

知床世界自然遺産
SHIRETOKO WORLD NATURAL HERITAGE

知床羅臼

SHIRETOKO RAUSU

海と山と空に
神(カムイ)が集うところ